

## SGLの和風金属

### 「カナメルーフ」高耐久化

(株)カナメ(本社・栃木県宇都宮市、吉原正博社長)は10月20日、新素材SGLを採用した横書き金属成形瓦「SGL版カナメルーフ」(長さ1362mm×幅362mm)を発売した。SGLは日鉄住金鋼板の特許製品で、

従来のガルバリウム鋼板にマグネシウムを添加することで耐食性能を3倍超に高めたもの。

SGLの採用により酸性雨などへの耐候性や、切断部などにおける錆の発生率を抑制する性能(錆耐性)が増し、製品

の耐用年数は旧来の「カナメルーフ」に比べて延びた。

カナメルーフは同社が1978年より製造販売している製品で、金属屋根材であって「和瓦の形状を忠実に模したデザイン」が特徴。同社では「ここ数年は板金工事業界のみならず、瓦工事業界からも引き合いが急増している」とし、「4月の熊本地震の際には通常の3倍以上の問い合わせがあった」という。



和風屋根への施工例